

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	ひだ清見イベント開催事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算 の 位 置 付 け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1	積極的な観光資源策を実施します ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
種別				款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	3231	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	4,000 千円				
		目	1	観光振興費	D	その他事業									

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント来場者	どうしたいのか(意図)	・地域内の組織する各種団体が実行委員となり、地域主導のイベントにより町の活性化を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・夏祭り ・紅葉まつり
	対象者数	12,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・夏祭り 1,500人 ・紅葉まつり 7,000人 ・観光PR用キャラクター着ぐるみの作成							
成果 面	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	イベント回数	回	目標値	2	2	2	2
				実績(見込)	2	2	1	
	成果指標	来場者数	人	目標値	12,000	12,000	12,000	12,000
				実績(見込)	11,300	8,500	1,000	
	成果指標	来場者数前年対比	%	目標値	97	106	141	1,200
				実績(見込)	110	75	12	
	補足	算出根拠等	達成率(%)	100	100	50		
				94	71	8		
	算出根拠等	実来場者数/目標数値(前年来場者数)	達成率(%)	113	71	9		
				目標値				
	算出根拠等	実績(見込)	達成率(%)					
目標値								
算出根拠等	実績(見込)	達成率(%)						
			目標値					
算出根拠等	実績(見込)	達成率(%)						
			目標値					
算出根拠等	実績(見込)	達成率(%)						
			目標値					

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域内の各種団体がイベントに対する目的意識を明確にし、民間が主導となる企画・運営を進め、住民への周知を図ることで更なる地域産業の活性化に繋げる。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題に対するH25対応状況	・イベントの目的・テーマを掲げ、清見地域の特色を活かした事業メニューにより誘客増加を図り、地場産業の活性化に繋げる。 ・特例期間終了を見据え、今後のイベントのあり方や事業の内容を実行委員会で検討する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	観光協会と地域団体が連携し、観光資源・地域産業を合わせ特色あるイベントを企画し誘客に結びつける必要がある。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。 ・各種効果について分析を行い、各イベントのあり方について検討する必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,987	4,900	4,400	4,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	441	576	367	333
	受益者 来場者数	(B)	11,300	8,500	12,000	12,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	清見地域の産業・文化及び地域資源を活用したイベントを開催し、地域のPRと誘客を図り、地域産業の活性化に繋げる。 夏まつり(8月) 紅葉まつり(10月)	要求の ポイン ト	ひだ清見イベント推進実行委員会への負担金	事業 実施 の 課 題	支 所 観光協会及び各種団体の連携が必要であり、実行委員会組織の自主的な運営を更に活性化させる必要がある。	観光課 地域政策課	同上	平成27年度以降の観光振興事業については、市の関わり方、実施主体、誘客効果等の観点から、市が直接実施するもの、市が民間と一体となって実施するもの、民間団体が主体となって実施するもの及び地域の自主事業に整理することとしており、地域振興イベントについても、整理方針への対応を見据えた事業実施が必要である。
------	---	-----------------	----------------------	-------------------------	---	--------------	----	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,400	4,000	△ 400	4,000	4,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	4,400	4,000	△ 400	4,000	4,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	せせらぎ街道キャンペーン推進事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	項	2	観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	800 千円				
			目	1	観光振興費		D	その他事業						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	・自然景観を維持し、観光資源として活用し、せせらぎ街道を魅力あふれる街道として利用者の増を図り、地域を活性化させる。	概要	事業の実施手法(手段)	・せせらぎ街道を愛する会を通じて、せせらぎ街道を利用してもらうための観光キャンペーン・写真コンテストや、自然景観維持のために、草刈りや植樹などを郡上市と連携して実施する。
対象者数		2,558 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街道沿線清掃、植樹作業などの景観保全。</li> <li>・せせらぎ街道の横断幕の設置などによるPR活動の実施。</li> </ul>								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	事業実施数(せせらぎ街道を愛する会事業実績)		回	目標値	11	11	11	11
		実績(見込)				12	12	11	
		算出根拠等			達成率(%)	109	109	100	
	成果指標	せせらぎ街道入込客数(道の駅バスカル清見、ウッドフォーラム飛騨入込数)		人	目標値	180,000	180,000	180,000	180,000
		実績(見込)				168,070	170,902	175,000	
		算出根拠等			達成率(%)	93	95	97	
	成果指標	入込客数前年比(道の駅バスカル清見、ウッドフォーラム飛騨入込数)		%	目標値	111	94	105	103
		実績(見込)				94	102	102	
		算出根拠等		当該年度入込客数/前年度入込客数	達成率(%)	85	109	97	
	補足				目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・今後も引き続き「せせらぎ街道」が、魅力あふれる街道となるよう景観保全などの事業を行って行く必要がある。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・観光シーズンに併せたクリーンアップ作戦などの実施により、景観保全の維持を図っていく。	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・「岐阜県のじまんの原石」に認定されたことから、今後は「明日の宝物」になるようせせらぎ街道を愛する会並びに郡上市と連携して、せせらぎ街道の価値を高めていく。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・特別期間終了を見据え、行政の支援を縮小する必要がある。
○ 拡大		
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 800	800	800	800
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 307	308	313	313
	受益者	清見地域住民(4月1日現在)	(B) 2,609	2,597	2,558

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	せせらぎ街道を愛する会が実施する街道沿線清掃、植樹作業などへの負担金	要求のポイント	事業実施の課題	観光課	平成27年度以降、地域を限定したキャンペーンについては地域が主体となって実施する方向で検討しており、その方針を見据えた事業実施が必要である。
				地域政策課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	800	0	800	800	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	800	800	800	800		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	高山市老人福祉計画	市長公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要介護者等への地域福祉体制を整備します。
種別			款	3	民生費		○	B				
担当課	清見支所 地域振興課	内線 3221	項	1	社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	420 千円		
			目	3	老人福祉費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。	概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために事務局人件費を助成し、老人クラブを通じて、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	9,677					

## 2 事業の推移・結果 (Do)

H24実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,000	10,000	10,000
		実績(見込)	9,796	9,584	9,677			
	算出根拠等		達成率(%)	93	96	97		
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	143	139	138
		実績(見込)	143	139	138			
		算出根拠等		達成率(%)	95	97	99	
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	43	40	40	40
		実績(見込)	39	38	37			
		算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	91	95	93	
	補足			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)					

## 3 分析・評価 (Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、今後一層の充実と活発な取り組みが必要である。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH25対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。		
次年度の 実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討	老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	二次評価	○ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討	
	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。		

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	571	569	586
	受益者	清見区会員数(4月1日現在)	(B)	735	738

## 5 予算編成 (Action2)

事業内容	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求のポイント	地域老人クラブ事務局人件費	事業実施の課題	支所 地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするために一般会計(31336事業老人クラブ活動費補助金)予算へ移行する必要がある。	高年介護課 地域政策課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	---	---------	---------------	---------	---	----------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	市道未登記用地測量事業	内線	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
種別				款	7	土木費		○	B			
担当課	清見支所 基盤産業課	3231	予算	項	2	道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	10,000 千円	
				目	1	道路橋りょう総務費		D	その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市道内に残る民地の地権者	どうしたいのか(意図)	・市道の未登記路線の整理により、所有権主張によるトラブルを解消し、適正な道路管理を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。
	対象者数	158 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1路線の登記完了</li> <li>・2路線の調査、測量業務</li> </ul>									
成果面	活動指標	対象路線数	本	目標値	10	H24	8	H25	7	H26	5
		実績(見込)		2	1	2					
	算出根拠等		達成率(%)	20	13	29					
	成果指標	使用承諾済筆数	筆	目標値	74	60	39	13			
		実績(見込)		14	21	13					
	算出根拠等		達成率(%)	19	35	33					
	成果指標	登記済筆数	筆	目標値	204	174	165	30			
		実績(見込)		30	9	33					
	算出根拠等		達成率(%)	15	5	20					
	補足			目標値							
				実績(見込)							
	算出根拠等		達成率(%)								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所有者不明や市外の所有者であるため境界立会いが困難である。</li> <li>・所有者からの寄付がもたえない。</li> <li>・公図と現地が整合できない。</li> </ul>
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・未登記路線の早期解消が行えるよう、地権者への説明・寄付のお願いをし、立会い・登記を進める。	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・重要路線の未登記処理を早期に解消できるよう取り組んで行く必要がある。
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 7,195	3,642	12,000	10,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 21,607	10,937	32,877	27,397
	受益者 使用承諾済人数	(B) 333	333	365	365

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要求のポイント	事業実施の課題	地権者の権利関係が複雑となり、処理に時間を要する。 維持課 世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、優先順位をつけて未登記路線の解決を進める必要がある。 地域政策課 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。
------	------------------	---------	---------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	12,000	10,000	△ 2,000	10,000	10,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	12,000	10,000	△ 2,000	10,000	10,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花づくり推進事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4	個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。
種別			款	9	教育費		○	B					
担当課	清見支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,800 千円			
		3221	目	1	社会教育総務費		D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	・地域内の花壇管理を、地域ぐるみで取り組み、地域全体の景観保全と地域の絆を深める。	概要	事業の実施手法(手段)	・町内会単位で、花壇の植栽及び管理 ・主要幹線道路側花壇の植栽及び管理
	対象者数	2,558 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・町内会等の地区花壇、ロード花壇の花苗の購入及び地域住民等による花壇管理作業の実施						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	花苗の配布	本	目標値	62,500	62,500	62,500	62,500
	実績(見込)		62,020	61,390	57,175		
	算出根拠等		達成率(%)	99	98	91	
活動指標	花壇面積	m <sup>2</sup>	目標値	1,875	1,875	1,875	1,875
	実績(見込)		1,875	1,875	2,426		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	129	
成果指標	参加世帯数	戸	目標値	810	810	810	810
	実績(見込)		805	821	833		
	算出根拠等		達成率(%)	99	101	103	
補足			目標値				
	実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・地域の自主的な活動となるように事業主体の地区社会教育推進委員会などの協議、検討が必要である。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・地区における花いっぱい運動の継続、管理方法等を見直す必要がある。
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	・「花いっぱい運動」事業の継続、管理方法などを見直し、地域の自主的な活動となるような方向性を持たせる。
	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	3,028	2,678	2,800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,161	1,031	1,095
	受益者	清見地域住民	(B)	2,609	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・花いっぱい運動を推進するため各町内会等が管理する花壇に対し、花苗代及び管理等に対する委託料	要求のポイント	・地区における花いっぱい運動の継続、管理方法等を見直し。	事業実施の課題	市民活動推進課 地域政策課 地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動にかかる経費として全支所地域において計上されているが、予算措置の内容は花苗等の購入のほか肥料や資材の購入、花壇の管理委託など地域によって異なっている。 今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 平成27年度以降は市の関わり方を整理し、地域づくりの観点から市が実施することと地域で実施することの整理が必要
------	--	---------	------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	2,800	2,800	0	2,800	2,800	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	2,800	2,800	0	2,800	2,800		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	生涯学習作品展及び芸能発表会助成事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4	個人・家庭・地域を大切にする社会を築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別 予算を全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。
	種別			9	教育費		○	B					
担当課	清見支所	地域振興課	予算 内線	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,150	千円		
				3221	6		文化振興費	D					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか (意図)	・地域に根ざした芸能文化の振興を図ることを目的に、発表の場の提供により活動意欲を高め、世代を交えた多くの住民の交流と文化意識を向上させる。	概要	事業の実施 手法(手段)	・清見地区社会教育推進委員会が実施する地域文化振興事業への助成 ・公民館活動団体や小中学生などの作品展示会及び芸能発表会の開催
	対象者数	2,558					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・生涯学習作品展、芸能発表会等を開催							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
					作品出展項目	作品	目標値	7
	実績(見込)	10	11	11				
	算出根拠等	達成率(%)	143	157	100			
	活動指標	出演団体数	団体	目標値	10	10	14	14
					実績(見込)	13	14	14
	算出根拠等	達成率(%)	130	140	100			
	成果指標	作品出展人数	人	目標値	470	470	526	526
					実績(見込)	333	526	526
	算出根拠等	達成率(%)	71	112	100			
	成果指標	出演人数	人	目標値	150	150	187	187
					実績(見込)	187	181	187
算出根拠等	達成率(%)	125	121	100				
補足			目標値					
				実績(見込)				
算出根拠等	達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・地域の自主的な活動となるように事業主体の地区社会教育推進委員会などの協議、検討が必要である。
----------------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・運営方法の見直しや少子高齢化に伴う後継者育成などを検討する必要がある。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・「生涯学習作品展」や「芸能発表会」等の継続、開催方法などを見直し、地域の自主的な活動となるような方向性を持たせる。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	1,150	1,150	1,150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	441	443	450
	受益者	清見地域住民(4月1日現在)	(B)	2,609	2,597

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	地区社教が実施する文化作品展、芸能発表会に対する助成	要求の ポイント	・文化作品展は、「書道」「生け花」「短歌」「立華」「絵画」「盆栽」や保育園、小中学生などの作品を展示。 ・芸能発表会は、「舞踊」「大正琴」「カラオケ」「コーラス」「フォークダンス」や小学生の「太鼓」や中学生の「合唱」などを発表。	事業 実施 の 課題	・運営方法の見直しや少子高齢化に伴う後継者育成などを検討する必要がある。	生涯 学習 課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において実施しているが、地域により、内容・実施主体・助成割合等が異なっている。今後、協働のまちづくりの議論の中で、事業の必要性や取り組み方法等について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。	地域 政策 課	平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。
------	----------------------------	-------------	---	---------------------	--------------------------------------	---------------	---	---------------	-----------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,150	1,150	0	1,150	1,150	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,150	1,150	0	1,150	1,150		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	ひねりの舞、伊勢神楽保存事業補助	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	歴史文化基本構想、保存活用計画 地域振興計	市長公約	9	伝統文化を守り、次代へと継承します。 ◎美しいふるさとの伝統を守り次代に継承します。 ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値のある有形無形の伝統文化や文化財などの資源を活用するために、つつしいふるさと認証制度を創設します。
	種別			9	教育費		○	B					
担当課	清見支所 地域振興課	内線	予算	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	90千円			
				3212	7		文化財費	D					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見町牧ヶケ洞・上小島町民	どうしたいのか(意図)	・無形民俗文化財の保存と伝承者の育成を行うことにより、伝統芸能の保存と伝承を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市指定無形文化財となっている「ひねりの舞」と「伊勢神楽」の保存と後継者育成を行っている2つの団体に対し、活動費を助成する。
	対象者数	759					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・市指定無形文化財となっている「ひねりの舞」と「伊勢神楽」の保存と後継者育成が図られた。							
成果面	活動指標	補助金の交付額	円	目標値	90,000	90,000	90,000	90,000
				実績(見込)	90,000	90,000	90,000	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	伝統芸能の奉納回数	回	目標値	1	1	1	1
				実績(見込)	1	1	1	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	保存会会員数(ひねりの舞)	世帯	目標値	14	14	14	14
				実績(見込)	14	14	14	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
	成果指標	保存会会員数(伊勢神楽)	人	目標値	15	15	15	15
				実績(見込)	15	15	15	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
補足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・ひねりの舞保存会は、上小島地区の住民により構成されている。ひねりの舞には、子どもの芸能が必要であるが、現状の会員では必要な子どもの確保が困難な状況であり、7年に1度確実に実施できるよう、計画的に後継者が確保できるような保存会の体制づくりが必要である。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・ひねりの舞については、H26年度に実施できるよう計画的な保存や後継者育成を図る。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	郷土の伝統文化を後世に伝えることは、今を生きる者の使命であり、継続的に支援する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図りながら今後の支援のあり方を検討する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 90	90	90	90
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 117	117	119	119
	受益者	(B) 牧ヶケ洞地区、上小島地区住民	767	768	759

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	各団体の伝承芸能の後継者育成及び保存活動事業費に要する経費を助成する。	要求のポイント	事業実施の課題	文化財課 地域政策課	民間などの地域芸能の伝承、後継者の育成は継続的に行うことが大切である。今後も計画的な支援が必要である。  平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要
------	-------------------------------------	---------	---------	---------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	90	90	0	90	90	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	90	90	0	90	90		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	天然記念物環境保全事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 ・環境保全の重要性を理解し、みんなでより良い環境を創り上げ、次世代に残すことは私たちの使命であるため、将来を見据えた長期的な周知啓発運動の展開に加え、市内のすべての学校で環境教育を推進します。
種別			款	9	教育費		○	B					
担当課	清見支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	1,740 千円			
		3212	目	7	文化財費		D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	・市指定天然記念物「小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群」の環境保全対策を地域参加型で実施する。	概要	事業の実施手法(手段)	・獣害(イノシシ)対策をして電気柵を設置する。 ・オオハンゴンソウの抜き取りを実施する。 ・生態調査研究 ・水路に堰を設置し、水位の低下を防ぐ。 ・排水路ポンプ設置(湿原洗堀防止)
	対象者数	2,558 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣害(イノシシ)対策をして電気柵を設置。</li> <li>・オオハンゴンソウの刈取りを実施。</li> <li>・水路に堰を設置し、水位の低下を防ぐ。</li> </ul>							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動指標	電気柵の延長	m	目標値	740	900	950	950
		実績(見込)		740	950	950		
	算出根拠等			達成率(%)	100	106	100	
	活動指標	電気柵の面積	ha	目標値	2	2	2	2
		実績(見込)		2	2	2		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	
	活動指標	湿原植物保護活動	回	目標値	2	2	2	2
		実績(見込)		3	2	2		
	算出根拠等			達成率(%)	150	100	100	
	活動指標	水路堰の設置	箇所	目標値		4	4	4
		実績(見込)			4	4		
算出根拠等			達成率(%)		100	100		
成果指標	被害の減少率	%	目標値	18	10	5	5	
	実績(見込)		18	10	5			
算出根拠等		被害面積/全面積	達成率(%)	100	100	100		
補足			目標値					
			実績(見込)					
算出根拠等			達成率(%)					
H25以降、電気柵の範囲の拡大はなし。								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・電気柵は3年目、水路堰は2年目ということもあり、眼に見えてミズバショウや、ザゼンソウが増えているわけではないが、3年前と比較すると若干ではあるが効果が出てきている。次年度、個体数調査によりはっきりとした効果を検証する。また、オオハンゴンソウについては、湿原内は減少してきているものの、周辺地域には多く植生しているため、周辺土地所有者の協力を得て除去していかなければならない。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・周辺土地所有者にもオオハンゴンソウの除去の協力を求めて行く。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・電気柵の設置は次年度以降も継続的に行い、水路堰においては設置箇所を増やす。また、オオハンゴンソウの除去も続けて行っていく。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものとの整合を図って実施する必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	920	1,162	1,740	2,740
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	353	447	680	1,071
	受益者	清見地域住民(4月1日現在)	(B)	2,609	2,597	2,558

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・天然記念物主要個所の草刈りボランティアへ草刈刈を支給する。 ・特定外来種オオハンゴンソウの除去作業を委託する。 ・獣害から保護するための電気柵設置及び管理の委託をする。 ・水路の洗堀防止及び乾燥帯の水位確保のため水路に堰を設置する。 ・湿原内の植生等の調査を委託する。	要求のポイント	ミズバショウ、ザゼンソウの個体数調査と他の希少植物の植生調査の実施	事業実施の課題	・電気柵により、イノシシの侵入を抑制できることは一昨年設置してから実証されており、今後も引き続き設置する。 ・また、水路については、水位が上昇しても、1・2年で結果が現れるものではなく、実証には数年かかってしまうため、長期的に検証していかなければならない。	文化財課	天然記念物の保護、育成は継続的に行うことが大切である。今後も地域と連携し計画的な事業実施が必要である。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,740	2,740	1,000	1,730	1,730	・積算内容を精査	・財務部査定のとおりに
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,740	2,740	1,000	1,730	1,730		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4 個人・家庭・地域を大切にすることを築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別 予算を全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。
種別				9	教育費		○	B				
担当課	清見支所 地域振興課	内線	予算	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	380 千円		
				3221	1		体育総務費	D				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたい のか (意図)	・スポーツ大会等を通じて健康増進を図ることと老若男女を問わず地域住民間の交流を深める。	概要	事業の実施 手法(手段)	・清見地区社会教育推進委員会が実施する体育振興事業への助成
	対象者数	2,558					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・軟式野球、ソフトバレーボール、新春マラソン、剣道、卓球、スキーマのスポーツ大会を開催							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	活動 指標	大会数	回	目標値	8	8	8	7
		実績(見込)	7	6	7			
	成果 指標	算出根拠等		達成率(%)	88	75	88	
		参加人数	人	目標値	800	800	800	800
	実績(見込)	593	447	500				
	算出根拠等		達成率(%)	74	56	63		
				目標値				
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
	補足			目標値				
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・地域の自主的な活動となるように事業主体の地区社会教育推進委員会などの協議、検討が必要である。
----------------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況	・世代交代による参加人数の減少、実施種目の検討や大会参加人数増加への取り組みが必要である。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	「各種スポーツ行事」等の継続、開催方法などを見直し、地域の自主的な活動となるように方向性を持たせる。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	
○ 二次 評価	○ 維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
○ 縮小		
	□ 廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 380	380	380	380
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 146	146	149	149
	受益者	清見地域住民(4月1日現在)	(B) 2,609	2,597	2,558

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・地区社会教育推進委員会が実施する体育振興事業への助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	・世代交代による参加人数の減少が見受けられるので実施種目の 検討や大会参加人数増加への取り組みが必要である。	ス ポ ー ツ 推 進 課  地 域 政 策 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域における スポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予 算に計上されている。 今後、協働のまちづくりにより、各地区社教等が事業を自主運営していくことが できる仕組みづくりを検討する必要がある。  平成27年度以降は、地域の自主運営となる仕組みづくりが必要である。
------	-----------------------------	-------------	-----------------	---	--	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	380	380	0	380	380	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	380	380	0	380	380		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	清見地域サクラソウ保護保全事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約	8	豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります。 ◎市民生活の中に自然環境を生かした街づくりを進めます。 ・環境に対する取り組みを地域の活性化につなげるため、他業種連携による新産業の創出を図ります。	
種別			款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 地域振興課		項	1	総務管理費		○	C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
内線	3212		目	18	環境政策費			D					その他事業
H26計画額										千円			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	個人レベルで自生種の保護が行われているサクラソウ(環境省・岐阜県のレッドデータブックの絶滅危惧種)を将来にわたり保護・保全するため、①自生種の保護に関する調査研究を行い、その希少性を確認し、②市民にサクラソウを軸とした自然生態系を意識した自然保護意識の高揚に努め、③保護活動団体の育成と支援を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	①自生種遺伝子の調査と保護・保全活動の研究(筑波大学との連携) ②保護・保全活動の団体紹介や、研究・活動成果を公表する。市民を対象とした講演会の開催 ③保護団体等の育成及び支援
対象者数		2,558 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
成果 指 標	活動指標	保護活動意識啓発活動	回	目標値			2	1
		実績(見込)					2	
		算出根拠等	観察会、講演会等の開催	達成率(%)				100
	活動指標	保護活動団体の育成と支援	団体	目標値			1	1
		実績(見込)					1	
		算出根拠等	保護活動団体数	達成率(%)				100
	成果指標	品種(遺伝的に異なる個体)の保全	個体	目標値			10	8
		実績(見込)					8	
		算出根拠等	筑波大学のDNA鑑定による	達成率(%)				80
	成果指標	保護団体の会員数	人	目標値			10	8
		実績(見込)					8	
		算出根拠等	会員数の合計	達成率(%)				80
補 足			目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	清見地域のサクラソウの生育調査を行い、パネルとサクラソウの展示会を実施する。
次年度の 実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討 <input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
二次評価	・市全体のバランスを考慮し、一般予算で実施しているものと整合を図りながら、今後の事業のあり方を検討する必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23	H24	H25	H26
		決算額	決算額	予算額	予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	400	260
受益者1件当たり(円)	(A/B)			156	102
受益者	(B)			2,558	2,558

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	サクラソウ研究トップ機関である筑波大学と連携し、市民レベルでの保護保全を推進するとともに、サクラソウという個体の保護だけでなく、生育環境(生態系)を意識した自然保護事業を行う。	要求のポイント	自生種遺伝子の調査と保護・保全活動の研究 保護団体等の育成及び支援	事業実施の課題	支所 地域の活性化につながる保全活動になるよう調整を図る必要がある。	環境政策推進課 地域政策課	平成26年度中に、今後は地域活動の一環としての自主的な取り組みに移行できるよう働きかける必要がある。 平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。
------	--	---------	--------------------------------------	---------	---------------------------------------	------------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		400	260	△ 140	250	250	要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	400	260	△ 140	250	250		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	体験施設改修事業	内線	3231	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
	款					5	農林水産業費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課					項	1	農業費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円		
	目	3				農業振興費	D	その他事業							

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	体験施設利用者	どうしたいのか(意図)	・体験施設(すのまたふるさと学校・巢野俣野外研修施設・里人学校・おっぱら自然体験センター・彦谷の里)の利用者ニーズに対応した適正な施設管理が行われている。	概要	事業の実施手法(手段)	・体験施設(すのまたふるさと学校・巢野俣野外研修施設・里人学校・おっぱら自然体験センター・彦谷の里)の施設修繕を行う。
	対象者数	11,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	実績なし								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	すのまたふるさと学校施設トイレの洋式化		基	目標値			7	
		実績(見込)						7	
		算出根拠等			達成率(%)			100	
	成果指標	体験施設(すのまたふるさと学校・野外研修施設・おっぱら視線体験センター・里人学校)利用者数		人	目標値			11,000	12,000
		実績(見込)			9,951	11,019	12,000		
		算出根拠等			達成率(%)			109	
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
		算出根拠等			達成率(%)				
	成果面				目標値				
		実績(見込)							
算出根拠等			達成率(%)						
補足				目標値					
	実績(見込)								
	算出根拠等			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	経年劣化による施設修繕として、トイレの洋式化、屋根等の塗装修繕を行う。
次年度の実施方針	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討
	施設利用率向上のため、利用者のニーズに対応した施設管理が必要である。

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	4,500	2,670
	受益者1件当たり(円)		(A/B)			409	223
	受益者	体験施設利用者	(B)	0	0	11,000	12,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	体験施設(巢野俣野外研修施設・おっぱら自然体験センター)の経年劣化による施設修繕	要求のポイント	おっぱら自然体験センター ・屋根の改修 ・外壁の改修 巢野俣野外研修施設 ・洋式トイレ化	事業実施の課題	施設利用者のニーズに対応した施設管理が必要である。	農務課	施設利用者のニーズに対応した施設管理が必要である。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,500	2,670	△ 1,830	3,000	3,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,500	2,670	△ 1,830	3,000	3,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	木工施設整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	10 市民のための行政改革を断行します。 ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します。 ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	項	1	商工費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円		
		3231	目	1	地域商工振興事業費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設利用者	どうしたいのか(意図)	・商工施設の利用者ニーズに対応した適正な施設管理が行われている。	概要	事業の実施手法(手段)	老化する施設の修繕と器具等を更新する。
	対象者数	484,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	25年度新規事業のため実績なし								
成果 指 標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動 指 標	ウッドフォーラム飛騨公衆トイレの洋式化		基	目標値				4
		実績(見込)							4
		算出根拠等			達成率(%)				100
	活動 指 標	道の駅バスカル清見、ななもり清見厨房備品の整備		台	目標値				6
		実績(見込)						5	
		算出根拠等			達成率(%)				83
	成果 指 標	ウッドフォーラム飛騨利用者数		人	目標値				37,000
		実績(見込)			31,933	37,000		37,000	
		算出根拠等			達成率(%)				100
	成果 指 標	道の駅バスカル清見利用者数		人	目標値				147,000
		実績(見込)			136,077	133,902		140,000	
算出根拠等		達成率(%)					95		
成果 指 標	道の駅ななもり清見利用者数		人	目標値				300,000	
	実績(見込)			260,842	258,662		280,000		
	算出根拠等			達成率(%)				93	
補 足				目標値					
				実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	経年劣化による施設修繕として、トイレの洋式化、厨房備品の更新を行う。
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討 ○ 維持・改善 □ 拡大 □ 縮小 □ 廃止検討
担当課 評価	施設利用率向上のため、利用者のニーズに対応した施設管理が必要である。

## コスト面

コスト 指 標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	4,000	6,640
	受益者1件当たり(円)		(A/B)			8	14
	受益者	施設利用者	(B)	0	0	484,000	484,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	ウッドフォーラム飛騨は老朽化により修繕し、2つの道の駅器具類については20年経過しており老朽化が見られるため更新する。	要求のポイント	・ウッドフォーラム飛騨の修繕工事 ・道の駅バスカル清見、ななもり清見の厨房等備品の更新	事業実施の課題	施設利用者のニーズに対応した施設管理が必要であり、施設及び器具類の老朽化が進んでいるため、今後も計画的な更新が必要である。	商工課 地域政策課	施設および備品の老朽化が進み、修繕・更新が必要であることから、施設および備品の状況把握を早急に進め、整備計画を策定する必要がある。 同上
------	---	---------	--	---------	---	--------------	---

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,000	6,640	2,640	6,000	6,000	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,000	6,640	2,640	6,000	6,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	清見グリーンツーリズム推進事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	項	2	観光費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円			
		3231	目	1	観光振興費		D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	グリーンツーリズム参加者	どうしたいのか(意図)	・既存の体験施設(おっぱら自然体験センター、すのまたふるさと学校、清見里人学校)と連携したグリーンツーリズムの推進。	概要	事業の実施手法(手段)	・ひだ清見グリーンツーリズム推進協議会を中心としたグリーンツーリズムPRの実施や生活環境保全林「小鳥の郷」の活用についての現地調査の実施。
	対象者数	12,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・「小鳥の郷」の活用のための現地調査等。							
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	既存体験施設のための啓発等活動回数	目標値		回	4	1	1	1
		実績(見込)			4	2	1	
		算出根拠等			達成率(%)	100	200	100
	グリーンツーリズム参加者数	目標値		人	10,000	10,000	10,000	12,000
		実績(見込)			8,695	11,019	12,000	
		算出根拠等			達成率(%)	87	110	120
		目標値						
		実績(見込)						
		算出根拠等			達成率(%)			
		目標値						
		実績(見込)						
算出根拠等			達成率(%)					
	目標値							
	実績(見込)							
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・冬期間等閑散期における体験メニューの検討や各季節におけるメニューを充実し年間を通したグリーンツーリズムの推進を図る。 ・生活環境保全林「小鳥の郷」の活用について検討が必要。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題に対するH25対応状況	・「小鳥の郷」の活用方法について、ひだ清見グリーンツーリズム協議会や地元関係者と検討し、グリーンツーリズムの推進に繋げる。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・ひだ清見グリーンツーリズム推進協議会が中心となり、既存3施設との連携を図り体験メニューの充実と「小鳥の郷」の活用によりグリーンツーリズムの推進を図る。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特別期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	430	76	350	350
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	49	7	35	29
	受益者	グリーンツーリズム参加者	(B)	8,695	11,019	10,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	清見町内の既存体験施設(おっぱら自然体験センター、すのまたふるさと学校、清見里人学校)が、連携し清見地域におけるグリーンツーリズム活動の推進を図る。	要求の ポイント	①体験メニューの充実(資源活用企画、モニター行事による検証等) ②指導者等関係者のスキルアップ・情報交換(指導者研修会) ③グリーンツーリズム活動の効果的な情報発信と普及啓発活動(集客のための情報誌への掲載と活動紹介パンフレットの作成)	事業 実施の 課題	環境教育や自然体験学習への市民ニーズは高まっており、各施設の利用者は年々増加傾向にある。 今後、各施設の連携を強化し地域の自然を活かした体験型観光のPR等を実施し、より一層の利用拡大を図る必要がある。	観光課	終期を定めて実施している事業であり、平成27年度以降の自主的運営を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		350	350	0	350	350	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	350	350	0	350	350		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	ひだ清見お祭りキャンペーン事業	内線	3231	特別 予算の 位置 付け	会計	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・観光まちづくりを持続可能なものとするため、飛騨地域の民間組織と行政、観光関係者をはじめ、地域住民などの関係者と幅広く連携し、広域ネットワーク化を図ります。
	款					6	商工費	B							
担当課	清見支所 基盤産業課			2	1	項	2	観光費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	3,500 千円			
	目	1	観光振興費			D	その他事業								

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	荘川・清見住民	どうしたいのか(意図)	・荘川地域と連携して、せせらぎ街道・やまびこ街道・さくら街道の利用者増を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・荘川・清見観光客誘致推進協議会を核にキャンペーンの実施・誘客パンフレットの印刷等を行う。
	対象者数	3,781 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・観光マップの製作 ・誘客キャンペーンの実施(4回)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	お祭りマップ(荘川清見周遊マップ)配布枚数	枚	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
	実績(見込)		10,000	10,000	10,000		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
活動指標	誘客キャンペーン実施回数	回	目標値	3	3	3	3
	実績(見込)		3	4	3		
	算出根拠等		達成率(%)	100	133	100	
成果指標	清見町入込客数(道の駅バスカル清見・ウッドフォーラム飛騨・道の駅ななもり清見入込客数)	人	目標値	470,000	480,000	480,000	480,000
	実績(見込)		428,912	429,564	435,000		
	算出根拠等		達成率(%)	91	89	91	
成果指標	入込客数前年比(道の駅バスカル清見・ウッドフォーラム飛騨・道の駅ななもり清見入込客数)	%	目標値	102	112	112	110
	実績(見込)		92	100	101		
	算出根拠等	当該年度入込客数/前年度入込客数	達成率(%)	90	89	90	
成果指標	荘川町観光客入込客数(1月～12月)	人	目標値	460,000	460,000	460,000	460,000
	実績(見込)		413,299	393,835	400,000		
	算出根拠等		達成率(%)	90	86	87	
補足			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・平成21年度より実施した交通量調査などを今後の事業に活かす必要がある。
--------------------------	--------------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・今年度実施する誘客キャンペーン事業内容に、交通量調査分析結果を有効活用する取り組みを実施する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	実施した交通量調査や分析結果を有効に活用し、北陸地域からの誘客に向けた具体的な取り組みを実施する。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の支援を縮小していく必要がある。

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	3,473	1,000	1,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	891	257	264
	受益者	(B)	3,896	3,894	3,781

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	荘川・清見観光客誘致推進協議会負担金	要求の ポイント	①周遊マップの増刷 ②観光パンフレットの増刷 ③観光キャンペーンの実施	事業 実施の 課題	特例期間終了後の誘客PR方法について検討していく必要がある。	観光課	平成27年度以降、地域を限定したキャンペーンについては地域が主体となって実施する方向で検討しており、その方針を見据えた事業実施が必要である。
						地域政策課	平成27年度以降の事業実施について、地域で検討する必要がある。

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,000	1,000	0	1,000	1,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	観光施設整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	10	市民のための行政改革を断行します。 ◎将来を見据えて必要な行政改革をすくに断行します。 ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	項	2	観光費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円			
		3231	目	2	観光施設費		D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設利用者	どうしたいのか(意図)	・観光施設の利用者ニーズに対応した適正な施設管理が行われている。	概要	事業の実施手法(手段)	・老朽化した施設の修繕と器具を更新する。
	対象者数	34,000 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	観光施設の整備	件	目標値					2
	算出根拠等		実績(見込)					
成果指標	観光施設(森林公園大倉、ラベンダー公園、バスカルキャンプ場)利用者数	人	目標値					34,000
	算出根拠等		実績(見込)	27,936	32,675	33,300		
成果面			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	算出根拠等		実績(見込)					
			達成率(%)					
	算出根拠等		目標値					
			実績(見込)					
	算出根拠等		達成率(%)					
補足			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績(見込)					
			達成率(%)					

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題
--------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	2,160
受益者1件当たり(円)	(A/B)				64	
受益者	施設利用者	(B)				34,000

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	観光施設の経年劣化による施設修繕と備品の更新	要求のポイント	森林公園大倉滝 ・貸しロッジ屋根の塗装 ・厨房機器の更新 ラベンダー公園 ・管理棟屋根の塗装	事業実施の課題	施設利用者のニーズに対応した施設管理が必要であり、施設及び器具類の老朽化が進んでいるため、今後も計画的な更新が必要である。	観光課 施設利用者のニーズに対応した計画的な施設修繕を実施し、利用者の増加と満足度の向上を図る必要がある。
						地域政策課 同上

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	2,160	2,160	2,500	2,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	その他							
	一般財源	0	2,160	2,160	2,500	2,500		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	73199	河川整備対応事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約		
種別			款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 基盤産業課	内線 3231	項	3	河川費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		H26計画額	千円
			目	1	河川維持費			D	その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	牧ヶ洞地区住民	どうしたいのか(意図)	・豪雨時に頻繁に被害が発生する落差工等を整備し、市民が安全・安心・快適に暮らせる地域づくりに繋げる。	概要	事業の実施手法(手段)	普通河川(岩野川)の落差工等の修繕工事
	対象者数	700人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	整備箇所	算出根拠等	件	目標値			1	2
				実績(見込)			1	
成果指標	事業実施受益者数	算出根拠等	人	達成率(%)			100	
				目標値			700	700
		算出根拠等		実績(見込)			700	
				達成率(%)			100	
成果面		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				
補足		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
		算出根拠等		実績(見込)				
				達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・河川落差工等の修繕	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・改修箇所の現地を確認し、緊急性を要する箇所から順次実施する。
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	□ 拡大	
	□ 縮小	
	□ 廃止検討	

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	0	0	4,000	7,000
	受益者1件当たり(円)		(A/B)			5,714	10,000
	受益者	牧ヶ洞地区住民	(B)	0	0	700	700

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	普通河川(岩野川)の落差工等の改修	要求のポイント	事業実施の課題	維持課	改良が必要な箇所が多くあり、災害防止の観点から早期完了を目指す必要がある。早期完了を目指し引き続き実施する必要がある。
			支所	地域政策課	整備区間が1,420mと長く、数年に及ぶ改修となることから、早期完了を目指す必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である。

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,000	7,000	3,000	7,000	7,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	4,000	7,000	3,000	7,000	7,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	せせらぎ街道スポット整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別			款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	項	4	都市計画費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
		3231	目	7	快適環境整備費			D	その他事業				
H26計画額										10,000 千円			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	・高山市の西の玄関口として、観光客の増加を図るとともに、道路利用者が安全・安心に利用できるよう沿道の景観保全を行う。	概要	事業の実施手法(手段)	・高木の枝処理 ・スポット施設の樹木の整備
	対象者数	2,558 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		<ul style="list-style-type: none"> <li>高木枝処理</li> <li>立ち枯れ木の処理</li> </ul>							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	高木枝処理本数	算出根拠等	本	目標値	30	50	30	30	
				実績(見込)	22	53	30		
	達成率(%)								
		73	106	100					
	成果指標	せせらぎ街道利用者数	算出根拠等	人	目標値	180,000	180,000	180,000	180,000
					実績(見込)	168,680	170,902	175,000	
	達成率(%)								
		94	95	97					
	成果指標	利用者数前年比	算出根拠等	%	目標値	111	94	105	103
					実績(見込)	94	101	102	
	達成率(%)								
85		107	97						
補足	算出根拠等			目標値					
				実績(見込)					
達成率(%)									

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・せせらぎ街道は生活道路であるとともに観光道路として重要であるため、ボランティアによる作業や県と連携し景観を維持する必要がある。
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道スポットの立ち枯れ木及び高木枝処理</li> <li>県が所管する施設等について県と調整を行い実施する。</li> </ul>
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持・改善                     <ul style="list-style-type: none"> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> </ul> </li> <li>維持・改善                     <ul style="list-style-type: none"> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> </ul> </li> </ul>
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持・改善                     <ul style="list-style-type: none"> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> </ul> </li> </ul>
次年度の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持・改善                     <ul style="list-style-type: none"> <li>拡大</li> <li>縮小</li> <li>廃止検討</li> </ul> </li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,659	774	500	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,402	298	195	195
	受益者	清見地域住民(4月1日現在)	(B)	2,609	2,597	2,558

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	沿線の景観スポットの中で、最も立ち止まる人が多い西ウレ峠を中心としたスポット整備を実施する。	要求のポイント	沿道スポットの立ち枯れ木及び樹木の枝処理	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施箇所に、保安林指定箇所があるため関係機関と協議の上事業を実施する必要がある。</li> </ul>	都市整備課 地域政策課	<ul style="list-style-type: none"> <li>沿道スポットの立ち枯れ木の伐採は、計画的に実施してきており、平成26年度で完了となる。ただし、スポット付近の生活環境保全林の管理は引き続き実施していく必要がある。</li> <li>施設設置者による適正な管理が行われるよう調整が必要である。</li> </ul>
------	--	---------	----------------------	---------	--	----------------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	500	500	0	500	500	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	500	500	0	500	500		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	81399	地域消防施設振興事業	内線	3212	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	H26計画額	千円	市長公約	10 市民のための行政改革を断行します。 ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすくに断行します。 ・市の施設や支所の改修利用を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。
種別						款	8	消防費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所	地域振興課				項	1	消防費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
						目	3	消防施設費			D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(清見地域(坂下))	どうしたいのか(意図)	消防員数が減少し、隣接地域の班と合併したことにより、使用しなくなった消防団車庫の火の見櫓が、老朽化及び利用目的が無くなった。	概要	事業の実施手法(手段)	火の見櫓 1基の解体
	対象者数	61人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
成果面	活動指標	旧坂下班の火の見櫓の解体撤去	基	目標値				1
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果指標		目標値					
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果指標		目標値					
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
	成果指標		目標値					
		実績(見込)						
	算出根拠等		達成率(%)					
成果指標		目標値						
	実績(見込)							
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題
--------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	180
受益者1件当たり(円)	(A/B)				2,951	
受益者	市民(清見地域(坂下))	(B)	0	0	0	61

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	旧坂下班の火の見櫓の解体撤去 1基	要求のポイント	危険箇所の回避と地域景観の保全	事業実施の課題	支所 解体後、旧消防団車庫を含めた施設及び土地の跡地利用の検討が必要である。	消防総務課 地域政策課	事業実施にあたり、地元消防団(班)・町内会等の関係機関と調整いただき、施設撤去後の利用を含め対応をお願いします。
------	-------------------	---------	-----------------	---------	--	----------------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		0	180	180	400	400	要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	0	180	180	400	400		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	文化財標柱設置事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します。 ◎美しいふるさとの伝統文化を守り次代に継承します。 ・国内外から訪れる多くの観光客に名所旧跡、文化財等をわかりやすく紹介するため、パンフレット、説明版等の整備や、人と人のつながりを大切に語る語り部の育成に取り組みます。	
種別			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 地域振興課	内線	項	4	社会教育費		○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業			H26計画額
		3212	目	7	文化財費			D	その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	文化財標柱の設置により、市民に対する文化財の周知を行い、文化財に対する理解と保護意識の高揚を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	市指定の石製標柱をわかりやすい場所に設置する。
	対象者数	2,558 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
活動指標	文化財標柱設置箇所	算出根拠等	基	目標値	3	0	0	5
				実績(見込)	3			
				達成率(%)	100			
成果指標		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
成果指標		算出根拠等		目標値				
				実績(見込)				
				達成率(%)				
補足	平成23年までに一旦終了したが、平成25年度中木柱標柱が朽ち倒れたため新たに設置する。							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	
--------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況		
次年度の 実施方針	担当課評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二次評価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	503	0	0	1,050
受益者1件当たり(円)	(A/B)	193			410	
受益者	清見地域住民 (B)	2,609	0	0	2,558	

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	指定文化財のうち朽ち倒れた木柱を石製標柱により新たに設置する。 5ヶ所	要求のポイント	指定文化財の周知と文化財保護の意識高揚	事業実施の課題	文化財課 文化財標柱・説明看板の設置は文化財保存や啓発の観点から必要であり、設置計画に基づき計画的に設置を進める必要がある。 地域政策課 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要
------	--	---------	---------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			1,050	1,050	1,000	1,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		1,050	1,050	1,000	1,000		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94999	地域生涯学習推進事業費	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	4	個人・家庭・地域を大切にすることを築きます ・地域住民が自らの地域を改善、振興する活動を支援するための地域振興特別 予算を全市域に拡大し権限と予算の地域移譲を図ります。
種別				款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 地域振興課	内線		項	4	社会教育費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円		
		3221		目	9	生涯学習推進費		D	その他事業				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	生涯学習施設利用者	どうしたい のか (意図)	・飛騨プラネタリウム前の広場を舗装工事により改修を図る。 ・飛騨プラネタリウムの鑑賞用椅子の張替えを図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	舗装工事 1,599.4㎡、鑑賞用椅子張替え等 70脚
	対象者数	7,000					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	0							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	成果 指標	飛騨プラネタリウム利用者数	人	目標値			6,000	6,000
				実績(見込)	6,753	5,856	6,000	
				算出根拠等			100	
	成果 指標	飛騨プラネタリウム利用団体数	件	目標値			500	500
				実績(見込)	647	442	500	
				算出根拠等			100	
	成果 指標			目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等				
	成果 指標			目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等								
補 足			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等					

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	
----------------------------------	--

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況		
次 年 度 の 実 施 方 針	担 当 課 評 価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	二 次 評 価	維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	0	0	8,577
	受益者1件当たり(円)	(A/B)				1,225
	受益者	(B)	0	0	0	7,000

## 5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・飛騨プラネタリウム前の広場の舗装をするもの。 ・飛騨プラネタリウムの鑑賞用椅子の張替え等をするもの。	要 求 の ポ イ ン ト	・広場舗装工事、鑑賞用椅子張替え等	事 業 実 施 の 課 題	支 所	・飛騨プラネタリウム前の広場の舗装面が亀の子状にひび割れが 入っている。 ・飛騨プラネタリウムの鑑賞用椅子が老朽化している。	生 涯 学 習 課 地 域 政 策 課	施設利用者のニーズに対応した計画的な施設修繕を実施する必要がある。 同上
--------------	--	---------------------------------	-------------------	---------------------------------	--------	--	--	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	8,577	8,577	3,800	3,800	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源		8,577	8,577	3,800	3,800		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	51399	新規就農研修施設管理事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	3	産業の柱として農業・林業・畜産業を確立します。 ◎次代のつながる農業を実現します ・農業を、豊かで広大な自然環境の恵みを活かして、技術と経営の一体的な確立を図り、次世代につながる産業に育てるため人材育成(後継者育成・新規就農者獲得・就農体験・研修制度)、農商工連携による第6次産業化などの施策を、農業従事者の声を聞きながら積極的、かつ合理的に実施する。
種別			款	5	農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	項	1	農業費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	200千円				
		3231	目	3	農業振興費	D	その他事業						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設利用者	どうしたいのか(意図)	・新規就農希望者に研修施設を提供することで、就農者の増加を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・新規就農研修施設の維持管理
	対象者数	4人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・新規就農研修施設の維持管理						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
	研修施設入居者数	人	目標値	4	4	4	4
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	3	2	2	
			達成率(%)	75	50	50	
成果指標	入居者の遊休農地耕作面積	a	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等		実績(見込)	55	55	55	
成果指標			達成率(%)	55	55	55	
	算出根拠等		目標値				
成果指標			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
	算出根拠等		実績(見込)				
成果指標			達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足			実績(見込)				
	算出根拠等		達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・施設利用者が、退去後地域内で定住し就農するケースもあるが、施設利用人数は減っているため、施設利用者を増やす取り組みが必要である。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・市外からの新規就農希望者に対して、施設利用のPRを行う。 ・施設退去後の定住について、土地の斡旋など地元関係者と調整する。	
次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	施設利用者の人・農地プランの位置づけなどにより、就農者の確保や拡大につとめる。
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	効果(施設利用者数に対する就農者数など)について分析し、施設利用者確保や定住促進を進める必要がある。

## コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	511	122	200
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	170,333	61,000	50,000
	受益者 施設利用者	(B)	3	2	4

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	新規に農業を志す研修生の受入施設の維持管理経費	要求のポイント	事業実施の課題	農務課 施設利用による効果を分析し、利用者確保や定住促進を進める必要がある。 地域政策課 施設利用率を高めるため就農希望者へのPRが必要である。 また、就農希望施設が入居期間満了後、就農や住居の確保を支援していく必要がある。 平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要
------	-------------------------	---------	---------	--

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	200	200	0	200	200	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	200	200	0	200	200		
一般財源			0				

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	大原地域活性化事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	10 市民のための行政改革を断行します。 ◎将来を見据えて今後必要な行政改革をすぐに断行します。 ・市の施設や支所の改修を進めるほか、遊休施設・土地などの有効活用を行います。
種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	2	観光費	C		終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額				
		3231	目	3	観光施設費		D		その他事業			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	大原地区住民	どうしたいのか(意図)	・ホテルバスカル清見関連施設の試験的活用と周辺広場の修景。	概要	事業の実施手法(手段)	・大原自然体験センターとの連携により、地域全体でグリーンツーリズムを推進する。
	対象者数	89人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホテル関連施設の維持管理</li> <li>・体験館(ホテル隣接)周辺の体験事業</li> </ul>								
成果 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26	
	活動指標	①体験館の利用人数(ホテルバスカル清見隣接施設)		人	目標値	90	150	150	250
		実績(見込)				105	188	200	
		算出根拠等		大原体験施設自然体験実績	達成率(%)	117	125	133	
	活動指標	②大原自然体験センターの利用者数		人	目標値	2,000	2,000	2,000	3,500
		実績(見込)				2,585	3,708	3,800	
		算出根拠等		大原体験施設実績	達成率(%)	129	185	190	
	成果指標	①大原自然体験センターの利用前年比		%	目標値	237	127	127	92
		実績(見込)				127	143	102	
		算出根拠等		当該年度利用者数/前年度利用者数	達成率(%)	54	113	80	
	補足				目標値				
					実績(見込)				
算出根拠等			達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・ホテル施設の活用について、地元関係者との検討・調整が必要である。
--------------------------	-----------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・ホテル施設の活用について、地元関係者との検討・調整を行う。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・道の駅やオートキャンプ場と連携し体験プログラムの拡大とグリーンツーリズムの推進を図る。周辺景観保全については今後も継続する。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	
二次評価	○維持・改善	・ホテルバスカルの将来的な活用方針を定める必要がある。
	○拡大	
	○縮小	
	○廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,104	1,099	1,200	2,280
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	24,465	12,779	13,483	25,618
	受益者	大原地区住民	(B)	86	86	89

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	ホテルバスカル清見関連施設の維持管理及び体験事業の実施	要求のポイント	・芝生広場の草刈り、公園トイレの清掃 ・ホテル内の清掃、ホテル周辺の樹木の選定 ・除雪	事業実施の課題	施設全体の稼働に向けて検討していく必要がある。	観光課	施設全体の稼働に向けて検討していく必要がある。
						地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,200	2,280	1,080	1,500	1,500	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他		30	30				
	一般財源	1,200	2,250	1,050	1,500	1,500		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74799	幹線道路沿線環境整備事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎新たな観光資源を発掘し活用します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。
種別			款	7	土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	項	4	都市計画費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	2,000 千円			
			目	7	快適環境整備費		D	その他事業					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	・清見地内幹線道路の沿道修景事業を実施し、来高者に高山市の玄関口として整備された景観を提供し、気持ちよくドライブを満喫してもらう。	概要	事業の実施手法(手段)	・清見地内幹線道路の草刈り
対象者数		2,558 人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	・街道沿線の草刈 L=31.4km							
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
					目標値	30	31	31
	実績(見込)	32	31	31				
	算出根拠等	達成率(%)	107	100	100			
	成果指標	清見町入込客数	人	目標値	470,000	480,000	480,000	480,000
					実績(見込)	446,016	447,134	450,000
	算出根拠等	達成率(%)	95	93	94			
	成果指標	入込客数前年比	%	目標値	102	96	107	107
					実績(見込)	96	100	101
	算出根拠等	達成率(%)	94	104	94			
	補足			目標値				
					実績(見込)			
	算出根拠等	達成率(%)						

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	・せせらぎ街道、やまびこ街道、卯の花街道は生活道路であるとともに観光道路として重要であるため、ボランティアによる作業や県と連携し景観を維持する必要がある。
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	・県のロードプレーヤー事業、地域のボランティアと連携し草刈りを実施する。	
次年度の 実施方針	○維持・改善	・高山市の西の玄関口として、道路周辺景観を保全するためにも継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	・県が管理する道路の草刈りは、道路管理者に安全確保の観点から事業実施を要する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,869	1,589	1,900	1,900
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	716	612	743	743
	受益者	清見地域住民(4月1日現在)	(B)	2,609	2,597	2,558

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	幹線道路沿線草刈業務	要求のポイント	幹線道路沿線の草刈を実施し、西の玄関口として道路周辺景観を整備する。	事業実施の課題	支 所 ・県管理道のため県に事業実施を要する必要がある。観光道路として重要な路線のため、県との連携を更に深める必要がある。	都市 整備 課 地域 政策 課	県が実施する道路沿いの草刈り範囲について調整し、確認しておく必要がある。  施設設置者による適正な管理が行われるよう調整が必要である。
------	------------	---------	------------------------------------	---------	---	--------------------------------	---

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,900	1,900	0	1,900	1,900	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,900	1,900	0	1,900	1,900		



# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	4	合併後のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。 ・地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、権限と予算の再構築を行います。
種別			款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	清見支所 基盤産業課	内線	項	1	総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	6,000	千円			
		3231	目	9	企画費	D	その他事業						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	清見地域住民	どうしたいのか(意図)	・市有施設の軽微な修繕など地域住民の要望に即応し、安全・安心・快適に暮らせる地域づくりに繋げる。	概要	事業の実施手法(手段)	・市道、農道、水路等の市有施設の軽微な修繕を支所長権限で実施。
	対象者数	2,558	人				

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望箇所の現地確認(5月~11月)</li> <li>・市道、排水路、市有施設等の修繕(7箇所)</li> </ul>							
成果面	活動指標	実施事業	件	目標値	10	14	20	20
		実績(見込)			13	7	20	
		算出根拠等			達成率(%)	130	50	100
	成果指標	実施受益者(延べ人数)	人	目標値	2,609	2,597	2,558	2,558
		実績(見込)			3,702	2,240	2,558	
		算出根拠等			達成率(%)	142	86	100
				目標値				
		実績(見込)						
		算出根拠等			達成率(%)			
				目標値				
		実績(見込)						
		算出根拠等			達成率(%)			
			目標値					
	実績(見込)							
	算出根拠等			達成率(%)				
補足	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の要望に対し即対応できる。</li> <li>・市有施設の適正な管理に繋がっている。</li> </ul>							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算内での執行の効率性を高めるためにも、国・県の補助金(農地・水等)を活用し、地域自らが行う事業と市が実施する事業を精査する必要がある。</li> </ul>
--------------------------	---

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH25対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各要望箇所の現地を確認し、実施箇所の選定を行う。(6月)</li> <li>・緊急性を要するものから順次実施。</li> </ul>	
次年度の実施方針	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の要望に即応し、安全・安心に暮らせる地域を構築するためにも事業を継続する。</li> </ul>
	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、平成27年度以降の対応を検討する必要がある。</li> </ul>

## コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,731	4,088	8,500	6,800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,813	1,574	3,323	2,658
	受益者	清見地域住民(4月1日現在)	(B)	2,609	2,597	2,558

## 5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求のポイント	事業実施の課題	支所	地域政策課	平成27年度以降は、市が取り組む事業として事業精査が必要である
------	--------------	---------	---------	----	-------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H25当初予算額	H26予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,500	6,800	△ 1,700	12,600	12,600	・配分額の調整	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
	県支出金		0				
	その他		0				
	一般財源	8,500	6,800	△ 1,700	12,600		

# 平成26年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	土地借上料			会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長公約	10 市民のための行政改革を断行します ◎将来を見据えて今必要な行政改革をすぐに断行します
	種別			款	0	総務費、農林水産、商工費		○	B			
担当課	清見支所 地域振興課		内線	項	0	総務管理費、林業費、商工費、観光費	目	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H26計画額	千円	
	清見支所 基盤産業課				3231	0		財産管理費、林業振興費、観光施設費、商工振興費、財産管理費	D			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	土地所有者	どうしたい のか (意図)	・市施設用地の借地について、市基準値で契約を締結する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・市の基準単価を上回る土地賃貸借。
	対象者数	29人					

## 2 事業の推移・結果(Do)

H24実績		・市の基準単価に基づく設定への移行を目指し、所有者との交渉を行った。 ・公共施設用地の土地賃貸借契約 31件							
成果 面	活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H23	H24	H25	H26
		借上件数	件	目標値	31	31	31	29	
	算出根拠等	土地賃貸借契約書	実績(見込)	31	31	29			
	成果 指標	借上面積		m2	目標値	993,853	993,853	993,853	993,591
		算出根拠等	実績(見込)	993,853	993,853	993,591			
	補 足	算出根拠等			達成率(%)	100	100	94	
					目標値				
				実績(見込)					
				達成率(%)					
				目標値					
				実績(見込)					
				達成率(%)					
		目標値							
		実績(見込)							
		達成率(%)							
		目標値							
		実績(見込)							
		達成率(%)							

## 3 分析・評価(Check)

H24決算における 分析・評価で 明らかになった課題	・一部の契約案件について、市の基準単価に近づけるよう交渉が必要。
----------------------------------	----------------------------------

## 4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H25対応状況		・一部の契約案件について、市の基準単価に近づけるよう交渉する。
次 年 度 の 実 施 方 針	担当 課 評 価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
	二 次 評 価	維持・改善 ○ 拡大 ○ 縮小 ○ 廃止検討
	(担当課評価に同じ)	

## コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H23 決算額	H24 決算額	H25 予算額	H26 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	5,885	5,885	5,075	4,182
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	189,839	189,839	175,000	144,207
	受益者	土地所有者	(B)	31	31	29	29

## 5 予算編成(Action2)

事業 内 容	土地借上料	要 求 の ポ イ ン ト	市の基準単価を上回る土地賃貸借料	事 業 実 施 の 課 題	支 所	一部の契約案件について、市の基準単価に近づけるよう交渉し理解を求める。	複 数 課	【商工施設・観光施設・林業施設】 段階的に市の基準になるよう調整中(最終年) 施設の継続的運営のため、市基準単価での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続 する必要がある。	地 域 政 策 課	基準内の借地料となるよう交渉が必要である。
--------------	-------	---------------------------------	------------------	---------------------------------	--------	-------------------------------------	-------------	--	-----------------------	-----------------------

事業費(人件費除く)		H25当初予算額	H26予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,075	4,182	△ 893	4,182	4,182	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,075	4,182	△ 893	4,182	4,182		